



# 箕面小だより



箕面市立  
箕面小学校  
令和5年(2023年)  
6月号

学校教育目標  
めざす子ども像  
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

## 努力の過程

校長 垣内 幸太

爽やかな空模様の中、運動会を無事開催することができました。保護者、地域の方など多くの方々に子どもたちのこれまでの頑張りの成果をみていただけたことをたいへん嬉しく思っております。当日は、子どもたちへの温かいご声援と拍手、PTA 役員の方々のご協力のもとスムーズな観覧へのご協力ありがとうございました。

この運動会でも、全力で頑張る姿をたくさん見せてくれた箕面小っ子たちでした。ゴールに向けて一生懸命走る姿、体いっぱい使ってダンスする姿、仲間に大きな声で声援を送る姿など…。教職員にとって、そのような子どもたちの姿に出会えることは大きな幸せを感じる瞬間のひとつです。

私自身も担任をしていたころ、運動会における指導をする機会が何度もありました。若いころは、全体の統制感や集団としての完成度を高めることにより力を注いでいました。練習を繰り返し、みんなが同じようにできることを目指していました。「ここまでできていないといけない」という、自らがひいた絶対評価の視点があったからでしょう。しかし、いつのころからか運動会へのその視点が変わっていきます。同時に子どもたち一人ひとりの表情に目が行くようになりました。同じように動いていても、いろいろな表情を子どもたちは見せてくれます。真剣な顔、自信たっぷりの笑顔、ちょっとはにかんだ顔…。普段の子どもたちの様子を知っている分、その子なりのこれまでの努力の過程や胸の内が見えてきます。その表情を見ていると、「少しぐらいずれていたって大丈夫!振り付けを間違えたっていい!自分の中で一番の力を出せばいい!」そんな声をかけたくくなります。

運動会で頑張る一人ひとりの表情を見ながら、全体やほかの子と比べてどうかといったことよりも、もっと大切なことはこの子がどの地点からスタートして今があるのか、どのような歩みで今があるのか、どんな心の変化を経て今を迎えているのかといった一人ひとりの成長の過程をみつめることだとあらためて思い起こさせてもらいました。

今後も家庭、地域、学校が同じ目線で子どもたちをみつめ、その頑張りの喜びを共有していけたらと願っております。6月も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。